

国土環境株式会社

インターンシップ体験報告

目的

環境分野での就職を考えるにあたり、環境を代表する職種である環境コンサルタント会社での業務を体験する。

背景

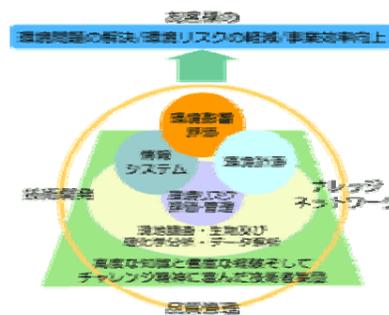
「環境学」という学問は専門家の間でも意見が分かれるほどに新しく、また可能性を秘めたものである。
一方で、「環境」自体の喪失は目にもとまらぬ速さで進行しており、それと同時に可能性すら喪失しかねない状況にあるのも事実である。
こういった事態の中、環境の喪失を食い止めるための実際の活動に直接結びつく職業に挙げたのが、環境コンサルタントであった。

期間

2002年8月1日～8月31日

受け入れ機関

国土環境株式会社 環境情報研究所 環境技術グループ



業務内容

各社員さんの担当している事業のお手伝い。

実際担当した業務

- ・羽田空港滑走路拡張に伴う騒音の影響に関する政策
滑走路を使用した場合に最も影響が及ぶと考えられる東京都、横浜市、川崎市内の教育施設や病院のリストアップとExcelでの整理。
- ・東京湾に生息する魚類の、都民に向けた図鑑作り
東京湾で生息を確認された魚類の資料整理とWordによるタイプ。
- ・日本における今後の湾岸緑化ベースのための解析資料作り
戦後の日本における湾岸緑化のデータを基にした、項目別解析資料の作成。
項目別資料を基にした解析のための補助グラフ作成 (Excel 使用)

反省

どの業務も目を凝らした細心の注意を払うことで見えてくる問題点や改善点を解決、またはそれを参考にした計画案の作成など、パズルを組み立ててゆくような非常に地道な作業であった。

これは、環境事業というものを進めてゆくために Think globally, Act locally が必要なのだというのを改めて肌で実感することのできた貴重な機会だったと思う。

また、インターンシップの際に使用したパソコンソフトは習熟したつもりのものであったが、大学での使用範囲と実際の業務での使用範囲に違いがあり戸惑った。業務でパソコンを使う際には、大学での使用とは違う更なる習熟が必要である。

今回のインターンシップでは学ぶべき点の発見だけでなく、実際の現場に触れ、間近でその様子を見学できたことが大きな収穫であった。これをきっかけに更なる向上を目指し、将来環境に係わる業務につくことを希望する気持ちが高まった。